# あおぞらこころこころ通信

令和５年度４月号

社会福祉法人三田谷治療教育院　明石市立あおぞら園・きらきら
〒674-0092 明石市二見町東二見 1836 番地の１ ふれあいプラザあかし西 ２階
TEL. 078-945-0280 FAX. 078-945-0281
E-Mail : aozorakirakira@sandaya.or.jp

撮影の為にマスクを外している場合がありますが感染症対策を徹底して行っています。

## いつも笑顔！ 飯塚園長ごあいさつ

入園式で挨拶をする飯塚園長

今年度から、あおぞら園・きらきらの園長に戻りました飯塚です。

平成 21 年、当法人が明石市様から委託を受けたその年の 11 月から約 10 年間、園長を勤めさせていただき、2 年間本部へ転勤し、令和 4 年 4 月 1 日に「ゆりかご園」も委託を受けた際、ゆりかご園の園長として、明石に戻って参りました。

再度、あおぞら園・きらきらの子ども達にとっての将来を見据えた支援を見直し、また保護者の方、そしてごきょうだいに寄り添うことも使命として、安心できる「あおぞら園・きらきら」を運営していきます。

ゆりかご園も引き続き園長を勤めますので、両園が一体となり、通園される子どもたちはもちろんのこと、地域の障害のあるこども達の生活が良くなるように出来ることを職員一同で考え、アクションを起こしたいと思います。

今年度も「あおぞら園」「きらきら」「ゆりかご園」をよろしくお願いいたします。

## 「せかいにひとりだけのぼく」～ LGBT を考える（令和 4 年度）～

オニイタレントの竹紫春翔さん

明石障がい者地域生活ケアネットワーク（135E ネット）主催の講演会に参加し、絵本「せかいにひとりだけのぼく」の著者でもある LGBT タレントの筑紫春翔さんのお話をうかがいました。絵本の朗読から始まって、優しいタッチの絵でありながらもリアルな内容に引き込まれていきました。

自己紹介に続けてご自身の体験が語られました。筑紫さんは身体的な性とご自身の認識する性が合わないトランスジェンダーということでした。今でこそいろいろな性を表す言葉があって小学生でも知る機会がありますが、当時は公然と差別されていたので、ご自分のことを認めるのも怖かったろうと想像しました。

男の子と同じ服装やふるまいができる野球を続けながらも、成長とともに違和感が増していき、いじめにも遭い、人と違う孤独感と、生きる場所がない絶望から死のうとさえ思ったそうです。叫ぶような語りに胸が締め付けられました。

意を決して打ち明けたことで、それまでもお母様が理解してくれていたことを知り、ありのままの自分を受け入れていく気持ちになれたそうです。そして「個性を大切にする世の中にする」活動へつながっていきます。今はいろいろなことに感謝して、夢に向かって生きておられるということで、最後は希望に満ちた気持ちになりました。

考えることの多いお話でしたが、本当に、どんな人も差別されない世の中になってほしいと思いました。

（副施設長・公認心理士：吉川）

満員御礼の講演会

## 明石市立あおぞら園、元気に令和 5 年度がスタート！！

名前を呼ばれて手をあげる新入園のお子様

4 月より 14 組のご家庭が明石市立あおぞら園に入園されました。入園式当日はお父様も一緒に参加していただいているご家庭がとても多く、お父様の子育てに対する関心の高さが感じられました。

4 月より新しい環境での生活となるため、不安を感じる保護者様やお子様もいらっしゃると思います。まずは、「明日もあおぞら園に行きたい」と思えるように、好きな遊びを一緒にしたり、「楽しい」と感じられることをたくさん用意したいと思います。保護者の方々も疑問に思うこと、お子様がどのように過ごしているのか等、聞きたいことがあれば気軽にご連絡ください。

前年度から継続して利用しているお子様も新しい保育室やお友達との生活になります。まずは、安心して楽しく過ごせるように、好きなことで一緒に遊んだり落ち着いて過ごせる方法を考えていきたいと思います。その際には、保護者の方とも連携を行い、家庭でもあおぞら園でも安心して過ごすことができるようにしていきたいと思います。

4 月当初は涙を見せるお子様もいらっしゃると思いますが、たくさんの笑顔を引き出せるようにしていきたいと思います。たくさんの「楽しい」という活動の中で「できた」という達成感を感じてもらい、お子様の成長に繋がるよう療育を行っていきたいと思います。一年間、よろしくお願いいたします。

（あおぞら園児童発達支援管理責任者兼主任：大向）

## 明石市立きらきら、ワクワクな令和 5 年度がスタート！！

泉川主任（左）ときらきらのスタッフたち

令和 5 年度は 24 名の継続児さんと新入園児さんで新年度がスタートします。1 部については、市内にある、たくさんの事業所の中から、親子療育を希望していただいた保護者の方のニーズをしっかり把握し、子育てやご家庭の悩み、進路などについて、一緒に考えて、お子様の成長を見守っていきたいと思います。2 部については、お子様の得意なこと、苦手なこと、所属先での課題など把握しながら就学に向けて、療育に取り組んでいきたいと思います。 1 部、2 部ともにお子様だけでなく、保護者の方、ご家族の方も笑顔で元気に過ごすことができるよう職員一同取り組んでまいります。 1 年間どうぞよろしくお願いします。

（きらきら児童発達支援管理責任者兼主任：泉川）

## 自閉症の方の世界が分かる！？ＶＲ体験

先日、明石障がい者地域生活ケアネットワーク（135E ネット）主催のユニバーサルミニ勉強会を企画し、開催いたしました。その中で初の試みとして、以前から興味があった自閉症の方の世界を知る VR 体験を一般社団法人発達障害支援アドバイザー協会様のご協力のもと実施しました。

すべてではないにしても、当事者の方の感じ方がここまでリアルに体験できるのか！？が VR 体験の感想です。当事者の方の気持ちを的確に知ることで、その方に合ったサポートができる。そんな未来がもう目の前まで来ています。（服部）

勉強会に向けて VR 体験を行う筆者